

全国拡大教材製作協議会 世話人会 4月臨時会 議事録

日時・場所 2013年 4月 24日 13:30～ 東京都障害者福祉会館
出席者 佐藤、猪狩、北島、後藤、傍島、高久、津布久、原、寺本、
(越谷市拡大写本の会、早川さん)

0. 本日の書記と検証の方を選出 書記 津布久 検証 原
議事

1. 事務連絡
会員近況 代表者の交代、入会と退会
2. 24年度決算と25年度予算案の検討
24年度重点活動項目の報告書検討 配布資料
3. 25年度重点活動計画案の作成 配布資料
4. 偕成社訪問と四者懇「児童書四者懇談会」への説明について
5. その他

内容

1. 5グループの代表者が交代
下松エンラジスターの会 3月で退会
新潟「ともしび」 4月入会 → 25年度は62グループへ
ホームページ更新について(傍島さん)
「トピックス」を作った
3月の会報をアップした 「あじさい」の新HPをリンクさせる
実績調査の状況 (北嶋さん)
30余りのグループから返事が来ている 今月末にまとめてアップの予定
2. 内容を全員で検討
3. 内容を全員で検討
4. 4月26日に中野先生、笹本様、協議会でミーティング、6月14日四者懇へ
5. 勉強会、関西でも開催することを決定
中野先生からのサンプル集の配布について → 次回、協議会より会員へ発送
大学生の教科書拡大の問い合わせについて → 著作権の事もあり未対応
富山県高校生 拡大読書器に頼る
愛知県小学生 iPad 利用希望 → 愛知のグループを紹介
「あじさい」のHP更新
ジャストシステム社のリンクを検討

越谷市拡大写本グループ 早川さんより

高等学校の教科書作成に備えデータの有無、何分冊にするとよいか等の質問
佐藤さんより

今後は高等学校の教科書作製にも着目していかなければいけない
今回の実績調査の結果をみて情報を共有していきたい

次世話人会の予定

5月22日 5月定例会

13:00～

東京都障害者福祉会館に於いて

全国拡大教材製作協議会 世話人会 5月 定例会 議事録

出席者：猪狩、後藤、傍島、高久、津布久、原、寺本、佐藤、(土屋顧問)

欠席者：北嶋

0. 本日の書記と検証の方を選出 書記 原 検証 寺本

議事

- 1 第16回代表者会議承認請求 議事 案について
発送手配済
- 2 事務連絡
 - 1 会員近況 代表者の交代 6グループより新代表の届け出があった
新潟 拡大写本ともしびより入会届 届く
 - 1 HP更新について 4月の定例会議事録アップ
 - 1 実績調査の状況 小学167 中学100 高校27の教材の作成情報一覧まとまる
- 3 関西勉強会について 6月13日(木)13時から16時
富士ゼロックス御堂筋本町ビル2階にて勉強会を開催
内容：教科書以外の拡大本 著作権について
全国拡大教材製作協議会が主催し、実施は関西拡大教科書ボランティア連絡会が行う
- 4 高校教科書拡大の推進部会(案)立ち上げの検討
今年度の作成グループより情報を収集の予定
今後の情報として全国グループへ情報共有を検討してゆく方向で進める
- 5 著作権 免除の特例グループ申請について
文化庁との情報確認を進め政令に定められた特例としての申請を検討していく
- 6 地域活動の支援・・・勉強会等のDVD作製と配布について(要望の検討)
主要都市以外での活動グループより要望あり
遠方で参加できない場合の勉強会内容をメディアとして貸し出したりは配布を希望
講師の了解を得られたので、関西地区勉強会より実施の予定
- 7 26年度総会及びつどいの開催について 地域及び要領の検討
関西勉強会にて参加グループへ開催地の希望があるかをおたずねする
7月定例会にて再度検討する
- 8 その他
中野先生からのサンプル集の利用のガイダンスについて
神奈川にて7月中野先生によるガイダンス講演実施
全国拡大協議会でも中野先生による勉強会を秋に予定
勉強会内容については以前に希望のあった「弱視について」を検討中

ロービジョンリハビリ関連の施設、弱問研など関連のあるホームページ
情報として全国拡大のホームページへリンクを追加する方向で

以上

次回世話会会の予定

7月24日 7月定例会 13:30～ 東京都障害福祉会館にて

2013年7月

全国拡大教材製作協議会 世話人会 7月 定例会 議事録

日時・場所 2013年7月24日 13:00～ 東京都障害福祉会館

出席者 佐藤、猪狩、北嶋、後藤、津布久、原、寺本
神奈川県拡大写本連絡協議会 会長井関様、副会長小倉様
四街道拡大写本の会 越島様、岸様
拡大写本サークル「つばさ」 土屋様

欠席者 傍島

書記 寺本、猪狩

議事・内容

1. 第16回代表者会議承認請求 回答報告

世話人会の提案の通りに承認された。(回答状況の報告は第44号会報に掲載)

2. 事務連絡

- 会員近況 代表者の交代 15グループより新代表の届け出があり、名簿を更新した。
- HP更新について 5月の定例会議事録をUPした。
- 年会費の請求事務の日程 8月上旬発送予定ですすめている。
- 神奈川県拡大写本連絡協議会から推薦されていた世話人の辞任を受けて、その後の世話人会の体制を協議した。任期までは欠員のままでいくこととした。

3. 関西勉強会について

6/13 関西地区で「拡大写本の今後をさぐる(関西)」が実施された。

今年勉強会には、東京、関西で合わせて130名の参加となった。

その際の質問と回答はHPにUPした。

4. 教科書協会との連携の検討

5/30 ミーティング 7/9 シンポジウム 7/18 教科書協会から要請

出版社とのコラボレーションについて、3年前にコラボを経験した四街道拡大写本の会の方・

シンポジウムの発表者の出席を頂いて、コラボのための条件、経験から思うこと、など教科書協会とのコラボを仮定しての検討事項を討議した。

これに基づいて、コラボのあり方に関する全会員の意見を求める文書を8月に発送予定。

5. 児童書四者懇談会への拡大本の説明

(日本児童出版美術家連盟・日本児童文学者協会・日本児童芸術家協会・日本書籍出版協会児童書部会)

6/14 偕成社にて 児童書四者懇談会に協議会が出席し、拡大本製作に理解を求めた。著作権の許諾については一定の理解が伺えた。

10/18 継続説明の予定

6. 高校教科書拡大の推進の検討

既に作製されている8グループにアンケートを依頼した。

7. 著作権 免除の特例グループ申請について(文化庁見解)

拡大写本ボランティアグループは申請を認められない。

関連...6月末、モロッコ「マラケッシュ条約」を世界多数の国で採択、6月19日には日本における

「障害者差別解消法」が成立した。この機会に、著作権法の拡大写本ボランティアへの制限の緩和に向けて、他団体と協力して活動することを考える。

- 8 . 秋の勉強会 「弱視児童への理解を深める」 講師：中野先生 11/29 決定
9月に案内を発送する予定。(会場は利用の申請中)
- 9 . 地域活動の支援...勉強会のDVD作製と配布について
中野先生 名古屋講演のDVD 関西勉強会DVD 希望グループを募り発送する。
提供の方法・詳細については、決まり次第会報等でおしらせの予定。
- 10 . 26年度総会及びつどいの開催について 地域及び要領の検討
関西は難しいとの回答を得たので、再度検討する。(会報に募集を掲載した。)
- 11 . その他
 - デジタルデータの個人利用の可能性の調査がスタートした。(文科省)
当面は盲学校高等部のiPADの使用を想定している様子。
 - 拡大教科書の作製提供状況のデータと文科省の調査 (データ管理機関のヒアリング 6/21)
県によって、ボランティア制作教科書の利用の割合が違う。
標準拡大教科書では読めていない可能性はないのか、等データを読み解く必要性を感じる。
 - 第44号会報の発行・発送

以上

次回世話人会の予定

9月25日 9月定例会 13:30~

東京都障害者福祉会館に於いて

2013年9月

全国拡大教材製作協議会 世話人会 9月定例会 議事録

日時・場所 2013年9月25日 13:30～ 東京都障害者福祉会館
出席者 佐藤、猪狩、北嶋、後藤、傍島、津布久、原、寺本
神奈川県拡大写本連絡協議会 会長井関様、副会長小倉様
拡大写本こくぶんじ 代表深井様、田名部様
赤いくつ 藤井様

書記 猪狩、北嶋

議事・内容

1. 報告

- ・ 8月5日、著作権法の改正を求めて文化庁と交渉。

著作権法の改正を求める当事者の3団体（社会福祉法人日本盲人会連合、障害者放送協議会著作権委員会、弱視者問題研究会）とボランティアの2団体（全国音訳ボランティアネットワーク、全国拡大教材製作協議会）が文化庁著作権課と交渉を行った。文化庁側は著作権課長を始め4名が対応した。協議会としては独自の要望書は作成せず、弱視者問題研究会の要望書（*1）に同調することを伝えた。

- ・ 9月19日、児童書四者懇談会訪問のための準備。

10月18日の訪問に向けて、笹本氏、中野先生、拡大写本グループ（1名）、全国協議会世話人（3名）で討議内容の検討を行った。

2. 事務連絡

- ・ 問い合わせ状況

数カ所の教育委員会から問い合わせが来ている。メールで各グループに紹介して個別の相談に至っているところもあるが、問い合わせの段階で止まっているところある。

- ・ 年会費徴収状況

62グループのうち55グループから入金あり。

3. 教科書協会との連携

- ・ 8月に実施したアンケート結果をふまえて専門チームを編成した。

専門チームのメンバーは、世話人会の推薦で連携に賛成のグループの代表4名・世話人1名の5名で編成する。

- ・ 今後はこの専門チームを教科書協会との交渉・連携の窓口とすることとし、10月下旬には専門チームから具体的製作の対象や条件を提示し、教科書協会との製作連携はスタートする予定。
- ・ 協議会としての全体方針は、あらためて会員の皆さまにお諮りする予定です。

4. 11月29日の勉強会「拡大写本の今後をさぐる 第2回」

『弱視を学ぶ～弱視児童の読書状況について』

- ・講師 慶應義塾大学教授 中野康志先生に依頼し、準備が進んでいる。
- ・9月25日、会員各位等に案内を発送した。
- ・10月23日、臨時世話人会を開催し具体的な計画の準備を行う予定。

5. 代表者懇談会

- ・代表者懇談会を勉強会の前（午前10時から12時）に実施することとし、全国協議会の中間報告と今後について意見交換の場としたい。
- ・11月の勉強会の案内と一緒に案内を発送した。急な日程ではあるが、多くのグループの参加をお願いしたい。

6. 26年度代表者会議

- ・会報を通じて開催地希望の有無を呼びかけたが、手を挙げる地区がなかったので、東京開催とすることとした。
- ・日時・会場については未定。
- ・「つどい」の持ち方についても会員の意見を吸い上げこれから検討する。

(* 1)

【著作権の一部改正を求める要望書】

著作権法第37条3項にある「福祉に関する事業を行うもので、政令で定めるもの」→「視覚障害者等のために情報を保障しようとするもの（営利を目的とする場合を除く）」としてほしい。

〈佐藤代表の感想〉

拡大写本ボランティアグループは、永年弱視児童・生徒の学習環境を保障することを目的に活動を続けてきた。今回文化庁との交渉に同行し、要望書という形を通して当事者の生の声を聞くことができた。教科書製作については課題がクリアされてきているが、そのほかの読書環境については課題も多い。全国協議会として、原点に立ち返り、利用者・行政と意思疎通に努め、視覚障害者一人一人の要求に合った形で情報を保障する活動の必要性を強く感じた。

以上

次回世話人会の予定

10月23日 勉強会に向けての臨時世話人会

午後1時30分～

東京都障害者福祉会館に於いて

2013年12月

全国拡大教材製作協議会 世話人会12月臨時会議事録

日時・場所 2013年12月11日 13:30～ 東京都障害者福祉会館

出席者 佐藤 猪狩 傍島 津布久 原 寺本 松井 北嶋

書記 北嶋 検証 傍島

議事・内容

1. 報告

☆(9月の議事録にて報告)8月5日に著作権法の改正を求め、文化庁と交渉したことについて文化庁より詳細を聞き検討し対応したいとの連絡を受け、宇野先生他、前回同行したメンバーと共に文化庁へ佐藤代表が再度訪問予定(12月20日)

☆国連障害者権利条約を日本が批准へ

日本政府は障害者総合支援法、障害者差別解消法を成立させるなど国内法令を整備しようやく批准が実現する見通しとなった

☆29日の代表者懇談会・勉強会についての反省等

今回代表者懇談会に時間を設けたこと、中野先生の講演についても概ね好評であった。今後もこういった取り組みを開催場所を東京にかたよらず会員の協力を得ながら企画していく

2. 事務連絡

☆世話人役割分担について 業務担当 松井(神奈川県拡大写本連絡協議会)

3. その他

☆会報, 29日の代表者懇談会・勉強会欠席グループへの資料等発送

☆来年5月開催予定の「大会」「つどい」に向けて準備を進めていく

26年3月までの世話人会予定

1月22日(水)	1月定例会	13:30～	東京都障害者福祉会館に於いて
2月26日(水)	2月臨時会	13:30～	東京都障害者福祉会館に於いて
3月26日(水)	3月定例会	13:30～	東京都障害者福祉会館に於いて

全国拡大教材製作協議会 世話人会 1月定例会 議事録

日時・場所 2014年1月22日 13:30～ 東京都障害者福祉会館
出席者 佐藤、猪狩、北島、傍島、津布久、原、寺本、松井、後藤

0. 本日の書記と検証の方を選出 書記 後藤 検証 傍島

議事

1. 事務連絡

- ① 会員近況 代表者の交代、入会と退会
- ② 著作権法の改正を求める当事者団体の陳述の報告
- ③ 宇野先生訪問 拡大協議会の利用者との橋渡し依頼
- ④ 専門チームによる教科書協会との共同 進捗

2. 5月の「26年代表者会議」の準備開始

- ① 代表者会議の持ち方
- ② つどいについて構想

3. その他

内容

1. ① 東淀川区拡大写本ルーペ 退会
② 12/20 文化庁訪問。
ボランティアの立場を説明。認識を改めてもらうよう努力を続ける。
③ 協力を快諾いただく。その後3件反応あり。
④ コラボを希望するボランティアに説明がほぼ終わり、実際にサンプル作りに向けて詳細を検討していくことになった。2月に二回目の打ち合わせ予定。
2. ① 東京都障害者福祉会館内における開催日時を検討。
② パネルディスカッション式によるつどいを予定。
テーマの検討。
3. 26年度会議室の予約手続き。

代表者会議において出た意見の実現に向けての確認。

次回世話人会の予定等。

2月26日 2月臨時会

13:30～ 東京都障害者福祉会館に於いて

2014年2月

全国拡大教材製作協議会

臨時世話人会

議事録

日時と場所 2014年2月26日 13:30～ 東京都障害者福祉会館 児童室Aにて
出席者 佐藤 猪狩 北嶋 傍島 津布久 寺本 原 松井 (欠席後藤)
(書記 傍島・検証 津布久)

1. 事務連絡

- 会員情報 特になし

- 拡大協議会の広報(つくば大附属宇野先生を通じて)
 - ・国立障害者リハビリテーションセンター 機能訓練士と連絡
 - ・出版ニュースに協議会の記事掲載
 - ・弱問研機関誌「つうしん」3月号に記事掲載
 - ・全国盲学校養護学校 校長、拡大関係者に「つうしん」の記事を配布
 - ・NHK ラジオ「きいて きかせて」で取り上げられる
 - ・音訳ボランティアでも同じ物を掲載結果 問い合わせが来ている

- 専門チームによる教科書協会との共同 進捗
 - ・依頼のあった全49タイトルを11グループに割り当て終了
 - ・教科書出版社と各グループのミーティング第1回が終了。次のステップであるサンプル作製に向け動き始めた
 - ・出版社とボランティアで交わす覚え書きの作成完了

- 平成26年度前半(4月～9月)会館利用申し込み承認

2. 5月の「26年度代表者会議」準備開始

- 代表者会議 5月31日(土) 10:30～11:30
- 代表者懇談会 5月31日(土) 12:30～15:30
- 代表者会議のお知らせを会報3月号に掲載
- 代表者懇談会のテーマを出欠葉書などで募る

今後の世話人会予定

3月26日(水) 13:30～	定例世話人会
4月23日(水) 13:30～	臨時世話人会 C3
5月7日(水) 13:30～	臨時世話人会 C3
5月14日(水) 13:30～	臨時世話人会 B2

全国拡大教材製作協議会 世話人会 3月定例会 議事録

日時・場所 2014年 3月26日 13:30～ 東京都障害者福祉会館

出席者 佐藤、猪狩、北嶋、後藤、傍島、津布久、原、寺本、松井
(書記 津布久・検証 原)

1. 事務連絡

- 会員情報 退会 東淀川区ボランティア拡大写本ルーペ(大阪)
59グループ
- 専門チームによる教科書協会との共同 進捗
- 25年度決算と26年度予算案の検討

2. 教科書枠を超えた拡大教材の要請

従来は利用者側が遠慮していたものへの要望が今後、多くなると思われる

- 私立中高一貫校新入生徒の保護者からの要請あり
学校、教育委員会、保護者の連携の参考になると考えられる
- 山形盲学校から副教材についての問い合わせあり
費用の調達問題、ボランティアが関わる例となり、
今後につなげる必要を感じる
盲学校・教育委員会に副教材の費用負担についてのアンケート実施を検討中

3. 「第17回代表者会議」への準備開始

- 代表者会議 5月31日(土) 10:30～11:30
- 懇談会 5月31日(土) 12:30～15:30
場所：東京都障害者福祉会館 教室(72名定員) 控室としてC2会議室

出席者：全国拡大教材製作協議会 会員とする

内容：(1) 挨拶、懇談会の趣旨説明
(2) 「新しい時代の活動の方向性について」の提案、要望について
(3) 世話人会の取り組みと今後のあり方、世話人の選出方法について
(4) まとめ

展示：会員に可能な物があれば展示をお願いする

係分担、準備等：名札の改良が必要と思われる

4. その他

- 会報と実績調査票を印刷し発送した

次回の世話人会 臨時世話人会
4月23日(水) 13:30～

C3会議室